

科目名	音楽基礎 3						年度	2026	
英語科目名	Music Fundamentals 3						学期	前期	
学科・学年	コンサート・イベント科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	田中亮	教員の実務経験		有	実務経験の職種		指揮者・合奏指導者		
<b>【科目の目的】</b> 出向等を含め、小屋付きスタッフとして担当する可能性のある「吹奏楽」「オーケストラ」の公演について、その概要や必要とされる知識・技術を理解する。									
<b>【科目の概要】</b> 学科の制作実習ではカバーしきれない内容を、動画や写真等の資料をふんだんに用いて解説する。オーケストラや吹奏楽の楽器の分類、指揮者の概要と小屋付きスタッフとの関わり、舞台上でスタッフが演奏者のための用意しておくべきこと、小屋付きスタッフが管理するグランドピアノの扱い方、音響・照明演出等で必要になるスコアリーディング能力の基礎、ひな壇の組み方とパターン、反響板の設置と意義、コンサートの一日の流れ、小屋打ちの内容、吹奏楽コンサートでよく扱われる楽曲の研究など、多岐にわたって扱う。									
<b>【到達目標】</b> A. オーケストラや吹奏楽の概要を理解する。 B. 木管楽器、金管楽器、弦楽器、打楽器について、楽器分類や小屋付きスタッフとして対応できることについて理解する。 C. ホールで管理するピアノの扱いや特性、指揮者の概要や小屋付きスタッフとしての接し方について理解する。									
<b>【授業の注意点】</b> 授業時限数の4分の3以上出席しない学生は、定期試験を受験する事ができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	授業内で触れた内容について、他者に同じように説明ができる。	授業内で触れた内容についての練習問題を正解できる。	授業内で触れた内容について理解できる。	授業内で触れた内容についての練習問題に正解できないが、解説を聞いて理解できる。	授業内で触れた内容についての練習問題に正解できず、解説を聞いても理解できない。				
到達目標 B	授業内で触れた内容について、他者に同じように説明ができる。	授業内で触れた内容についての練習問題を正解できる。	授業内で触れた内容について理解できる。	授業内で触れた内容についての練習問題に正解できないが、解説を聞いて理解できる。	授業内で触れた内容についての練習問題に正解できず、解説を聞いても理解できない。				
到達目標 C	授業内で触れた内容について、他者に同じように説明ができる。	授業内で触れた内容についての練習問題を正解できる。	授業内で触れた内容について理解できる。	授業内で触れた内容についての練習問題に正解できないが、解説を聞いて理解できる。	授業内で触れた内容についての練習問題に正解できず、解説を聞いても理解できない。				
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> *試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		音楽基礎 3			年度	2026
英語表記		Music Fundamentals 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション オーケストラ概論 (1)	授業の目的や内容、オーケストラの定義や編成の大小について理解する。	1 授業概要	授業で扱う内容の意義を理解する。	3	
			2 オケ・吹奏楽の公演	オーケストラや吹奏楽の公演数の多さを理解する。		
			3 オーケストラの編成規模	2管編成、3管編成について理解する。		
2	オーケストラ概論 (2)	オーケストラの弦楽器編成の規模を理解する。	1 弦楽器編成の基礎	弦楽器の種類と弦5部の基礎を理解する。	3	
			2 弦楽器編成の規模	12型、14型などの名称を理解する。		
			3 弦楽器の演奏人数	数字から、各パートの演奏者の人数を割り出せるようになる。		
3	吹奏楽概論 (1)	吹奏楽の概要と現況を理解する。	1 定義・概要	吹奏楽の定義と概要を理解する。	3	
			2 吹奏楽の現況	国内の吹奏楽部・吹奏楽団の数、公演の状況を理解する。		
			3 小屋付きで関わる吹奏楽	小屋付きスタッフとして吹奏楽に関わる可能性について知る。		
4	吹奏楽概論 (2)	吹奏楽の編成と管楽器の分類を理解する。	1 吹奏楽編成	吹奏楽のおおよその編成や規模を理解する。	3	
			2 木管楽器と金管楽器	木管楽器と金管楽器の分類の考え方について理解する。		
			3 弦楽器と打楽器	一部の弦楽器と打楽器の存在について理解する。		
5	楽器概論： 木管楽器 (1)	木管楽器の名称と活用例、舞台で関わるスタッフとして必要な知識を理解する。	1 フルート	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。	3	
			2 オーボエ	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。		
			3 ダブルリード楽器の舞台	舞台上で必要な準備・配慮について理解する。		
6	楽器概論： 木管楽器 (2)	木管楽器の名称と活用例、舞台で関わるスタッフとして必要な知識を理解する。	1 クラリネット	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。	3	
			2 ファゴット	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。		
			3 特殊楽器	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。		
7	楽器概論： 木管楽器 (3)	木管楽器の名称と活用例、舞台で関わるスタッフとして必要な知識を理解する。	1 サックスの概要	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。	3	
			2 サックスの種類	サックスの種類、違いについて理解する。		
			3 アンサンブル例	サックスアンサンブルとしての音色や特性を知る。		
8	楽器概論： 金管楽器 (1)	金管楽器の名称と活用例、舞台で関わるスタッフとして必要な知識を理解する。	1 トランペット	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。	3	
			2 ホルン	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。		
			3 トロンボーン	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。		
9	楽器概論： 金管楽器 (2)	金管楽器の名称と活用例、舞台で関わるスタッフとして必要な知識を理解する。	1 ユーフォニアム	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。	3	
			2 テューバ	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。		
			3 ミュート	ミュートの概要・種類・効果を理解する。		
10	楽器概論： 弦楽器 (1)	弦楽器の名称と活用例、舞台で関わるスタッフとして必要な知識を理解する。	1 弦楽器の分類	撥弦楽器、撥弦楽器、打弦楽器の違いについて理解する。	3	
			2 コンサートマスター	コンサートマスターの役割について理解する。		
			3 ヴァイオリン	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。		
11	楽器概論： 弦楽器 (2)	弦楽器の名称と活用例、舞台で関わるスタッフとして必要な知識を理解する。	1 ヴィオラ	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。	3	
			2 チェロ/コントラバス	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。		
			3 ハープ	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。		
12	楽器概論： 打楽器 (1)	打楽器の名称と活用例、舞台で関わるスタッフとして必要な知識を理解する。	1 概要	打楽器の概要について理解する。	3	
			2 演奏に用いる道具	打楽器演奏に用いるスティック、マレット等について理解する。		
			3 基本打楽器	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。		
13	楽器概論： 打楽器 (2) ピアノ	打楽器に加え、舞台スタッフが管理するグランドピアノの扱い方を理解する。	1 鍵盤打楽器	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。	3	
			2 小物・ラテン打楽器	楽器の基礎知識と舞台上での留意事項について理解する。		
			3 ピアノの扱い	ホールでのグランドピアノの扱い・設置方法を理解する。		
14	指揮者概論	指揮者について理解し、小屋付きスタッフとしての接し方を理解する。	1 指揮者の役割	指揮者の役割・役目について理解する。	3	
			2 リハーサルでの仕事	ステージリハーサル等での指揮者の仕事を理解する。		
			3 指揮者への頼り方	小屋付きスタッフとして指揮者とどう関われば良いかを知る。		
15	まとめ	前期の授業内容を振り返って理解し、期末試験に備える。	1 前期試験出題概要	試験の出題形式や対策方法について理解する。	3	
			2 PC実習内容	PC実習の内容を振り返り、復習して理解を深める。		
			3 B検対策内容	B検対策の内容を振り返り、復習して理解を深める。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等